

2001 年度(平成 13 年度)
日本生態学会北海道地区大会

講演要旨集(兼プログラム)

日時:2002 年(平成 14 年)2 月 16 日(土)

会場: 美唄市 ホテル スエヒロ
孔雀の間(2階)
美唄市西2条南2丁目 (01266-2-2501)

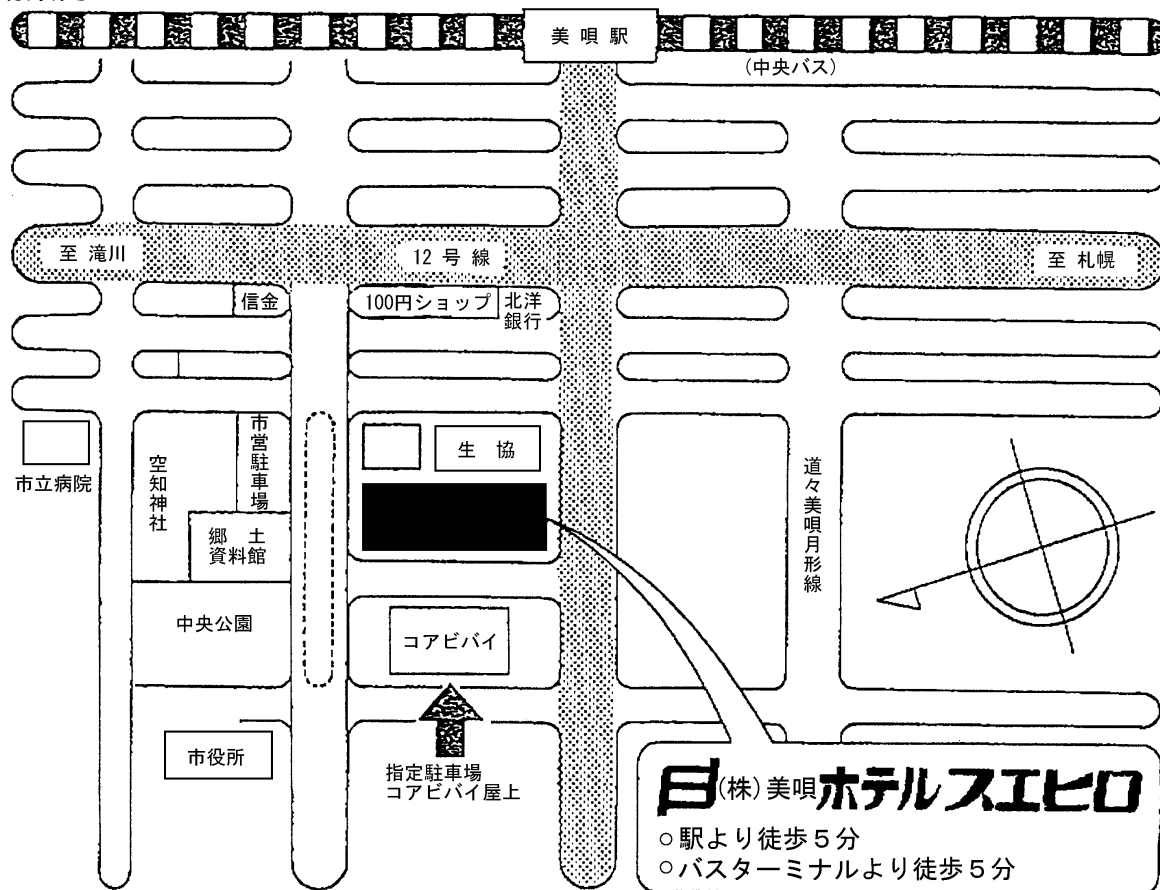
2002 年 2 月 美唄

大会実行委員長 石川 幸男

2001年度(平成13年度) 日本生態学会北海道地区大会 プログラム

会場: 美唄市 ホテル スエヒロ 孔雀の間 (美唄市西2条南2丁目)
日時: 2002年2月16日(土)

会場案内



- | | |
|--------------|------------------|
| 9:30 | 受付開始(会場入口付近) |
| 10:00-11:45 | 一般講演 |
| 11:45- 11:51 | 休憩 |
| 11:51- | 修士論文発表会 (1)-(2) |
| 12:35-13:35 | 昼休み |
| 13:35-16:53 | 修士論文発表会 (3)-(11) |
| 講演終了後 | 総会(講演会場と同じ場所) |
| 17:45- 2時間 | 懇親会(ホテル スエヒロにて) |

交通案内

JR 利用: 美唄駅下車, 徒歩 5 分
食堂: ホテル スエヒロ内にあり

注意

駐車場	表紙に示しました地図に指定された駐車場を利用してください。
受付	9時30分より受付を行います。当日の参加申し込みも受け付けますので、申し込みをされていない方もふるってご参加下さい。 受付において参加費(500円)と懇親会費(一般3500円、学生2500円)をお受けします。 原則として会場においては会員の皆様には当冊子を再配布しませんので、この冊子を当日お持ちください。当日参加の非会員の方のみに配付します。プログラムが発送されなかった会員は受付にお申し出下さい。
講演	スライド・OHP・液晶プロジェクターを利用した講演ができるよう準備をすすめています。 講演でスライドを使用される方は、発表30分前までに受付にお申し付けください。OHPの操作を係に依頼される場合は発表直前に会場係に直接ご指示願います。 液晶プロジェクターは、エプソンELP-715を地区会で準備しています。パソコンとの接続はCOMポートで行います。使用するパソコンは、各自で準備され(COMポートを確認のこと)、発表15分前までにはスタンバイしておき、前の演者との間にある30秒でセットアップ出来るようお願いいたします。
一般講演	発表時間は、発表12分、質疑応答2分30秒の合計14分30秒を基準とします。10分、12分、14分30秒にベルを鳴らします。時間を厳守するようお願いいたします。座長は直前の講演者とします。
修論発表会	発表時間は、発表15分、質疑応答6分30秒の合計21分30秒を基準とします。13分、15分、21分30秒にベルを鳴らします。時間を厳守するようお願いいたします。本年度から「修論賞」を設けました。選考は、座長および選考委員(2名)によって行う予定です。パフォーマンス等も選考対象とする予定です。
懇親会	懇親会は12時まで当日参加を受け付けますので、奮ってご参加ください。懇親会会場は、当日の参加人数により決定されますが、ホテルスエヒロ内で行います。

プログラム

一般講演(予鈴 10 分、2 鈴 12 分、終鈴 14 分 30 秒)2 鈴以降は質疑応答に当ててください。

*講演を終了した方は、次の講演の座長をお願いします。

- (1) 10:00-10:15 英国 Royal Veterinary College および London Zoo における生物多様性の保全を目指した野生動物医学教育の一例について
浅川 満彦(酪農学園大学獣医学部寄生虫学教室(野生動物学))
- (2) 10:15-10:30 日高山脈の植物的自然概説
佐藤 謙(北海学園大学・工)
- (3) 10:30-10:45 北の陸橋成立期のサハリン北西部における植生変遷
五十嵐 八枝子(アースサイエンス), 村山 雅史(高知大学), 故樋掛 鉄也(アースサイエンス)
- (4) 10:45-11:00 釧路湿原温根内におけるハンノキ林伐採後 2 年目の植生
佐藤 雅俊(帯広畜産大学・畜産環境)
- (5) 11:00-11:15 サロベツ湿原におけるエゾカンゾウの凍霜害と気象環境
山田 雅仁, 高橋 英紀(北大・院・地球環境)
- (6) 11:15-11:30 霧多布湿原・一番川中流域における植生変化の原因解明
ホーテス・シュテファン(北大・院・地球環境), アデマ・エルウィン, グロートヤンス・アブ(オランダ・グローニンゲン大学理学部植物学講座)
- (7) 11:30-11:45 Seasonal abundance and diversity of plankton rotifers from two different humic oxbow lakes of Kalimantan, Indonesia
スルミン・グミリ, 岩熊敏夫(北大・院・地球環境)

11:45-11:51 休憩

修士論文発表(予鈴 13 分、2 鈴 17 分、3 鈴 21 分 30 秒)2 鈴以降は質疑応答に当ててください。なお司会は当日、指名します。

座長 (1)-(2) : 工藤 岳

- (1) 11:51-12:13 近年の環境変化に対する冷温帯林の落葉樹の生長応答
田口 康宏(北大・院・地球環境)
- (2) 12:13-12:35 駒ヶ岳におけるカラマツの定着特性
赤坂 宗光(北大・院・地球環境)

12:35-13:35 昼休み

座長(3)-(5) : 原 登志彦

(3) 13:35-13:57 異なる光環境下における冷温帯林床植物の繁殖成功と繁殖特性の比較
小菅 祥二(北大・院・地球環境)

(4) 13:57-14:19 スズラン (*Convallaria keiskei*) の繁殖様式と集団の遺伝的構造
山田 悦子(北大・院・地球環境)

(5) 14:19-14:41 ユリ科アマドコロ属3種の繁殖特性と物質分配の比較
長谷川 智子(北大・院・地球環境)

座長(6)-(7) : 岩熊 敏夫

(6) 14:41-15:03 インドネシア熱帯泥炭湿地林における樹木蒸散流の挙動と気象要素
ユダ(北大・院・地球環境)

(7) 15:03-15:25 熱帯泥炭地における林野火災の諸特性
アスウィン・ウスブ(北大・院・地球環境)

座長(8)-(9) : 大原 雅

(8) 15:25-15:47 渡島駒ヶ岳における対照的なパッチ形成種2種による促進作用と阻
害作用
上坂 尚平(北大・院・地球環境)

(9) 15:47-16:09 東南アジア熱帯雨林におけるつる植物の垂直方向の空間分布
・分枝システムと茎先端部の強度との関連・
内田 あゆほ(北大・院・地球環境)

座長(10)-(11): 梶 光一

(10) 16:09-16:31 個体群間での形態形質の進化的変化のパターンと選択圧の影響
今井 周一郎, 長谷川 英祐(北大・院・農・動物生態)

(11) 16:31-16:53 キノコ食ショウジョウバエ類の共存における寄生蜂によるトップダ
ウン効果
萬屋 宏(北大・低温)

総会(講演終了後直ちに始めます)

司会(地区会長 甲山 隆司)

会長挨拶(甲山 隆司)

予定議題等 活動報告(露崎 史朗)

選挙報告(木村 正人)

会計報告(工藤 岳)および会計監査報告(露崎史朗 監査代理)

その他

懇親会(修論賞授賞式を含む)

17:45- 2 時間

参加予定者（五十音順）2002年1月20日現在

	講演	懇親会	
赤坂 宗光	北大・院・地球環境	有	参加
明石 信廣	北海道立林業試験場	無	参加
浅川 満彦	酪農学園大学・獣医	有	参加
アスウィン・ウスブ	北大・院・地球環境	有	参加
五十嵐八枝子	アースサイエンス（株）	有	参加
石川 幸男	専修大・北海道短大・造園林	無	参加
今井周一郎	北大・院・農・動物生態	有	参加
上坂 尚平	北大・院・地球環境	有	参加
内田あゆほ	北大・院・地球環境	有	参加
大原 雅	北大・院・地球環境	無	参加
梶 光一	北海道環境科学研究センター	無	参加
木村 正人	北大・院・地球環境	無	参加
工藤 岳	北大・院・地球環境	無	参加
甲山 隆司	北大・院・地球環境	無	参加
小菅 祥二	北大・院・地球環境	有	参加
小林 元	九州大学・農学部附属北海道演習林	無	参加
佐藤 謙	北海学園大学・工	有	参加
佐藤 雅俊	帯広畜産大学・畜産環境	有	.
スルミン・グミリ	北大・院・地球環境	有	参加
田口 康宏	北大・院・地球環境	有	参加
露崎 史朗	北大・院・地球環境	無	参加
富松 裕	北大・院・地球環境	無	参加
長谷川智子	北大・院・地球環境	有	参加
原 登志彦	北大・低温	無	参加
平尾 章	北大・院・地球環境	無	参加
ホーテス・シュテファン	北大・院・地球環境	有	参加
山田 悦子	北大・院・地球環境	有	参加
山田 雅仁	北大・院・地球環境	有	参加
ユダ	北大・院・地球環境	有	参加
萬屋 宏	北大・低温	有	.

大会総責任者: 甲山隆司

大会実行委員長: 石川幸男

進行役: 甲山隆司 会場運営: 露崎史朗・工藤岳

懇親会: 露崎史朗

会計責任: 工藤岳

プログラム・庶務: 露崎史朗